

## 第24回経営・経済動向調査

(社)関西経済連合会  
大阪商工会議所

### 目 次

#### 概 要

1. 国内景気.....	2
2. 自社業況.....	3
(1) 総合判断.....	3
(2) 個別判断.....	4
3. 2007年の経済見通しについて.....	6
(1) 来年1年間の日経平均株価の予想水準.....	6
(2) 来年の日本の実質GDP成長率の予想.....	6
(3) 日銀追加利上げについて.....	7

### 概 要

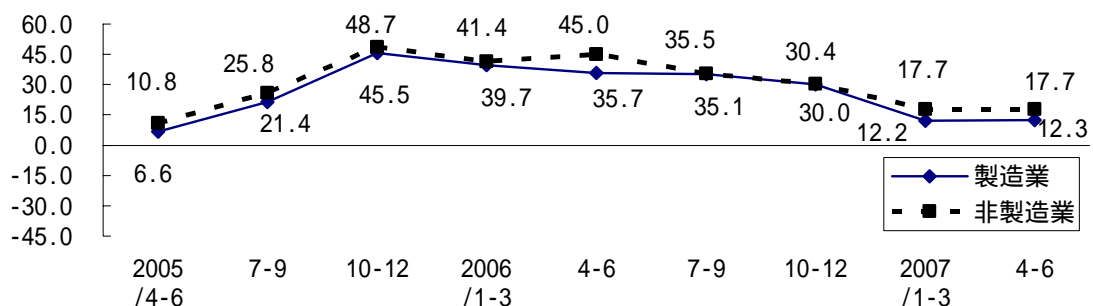
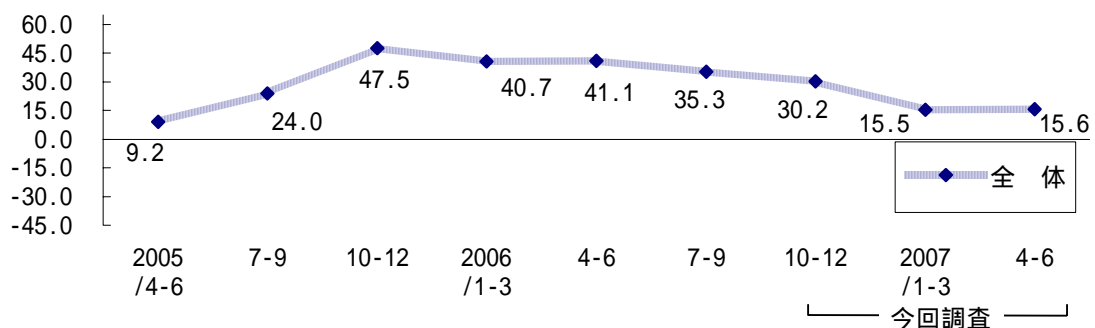
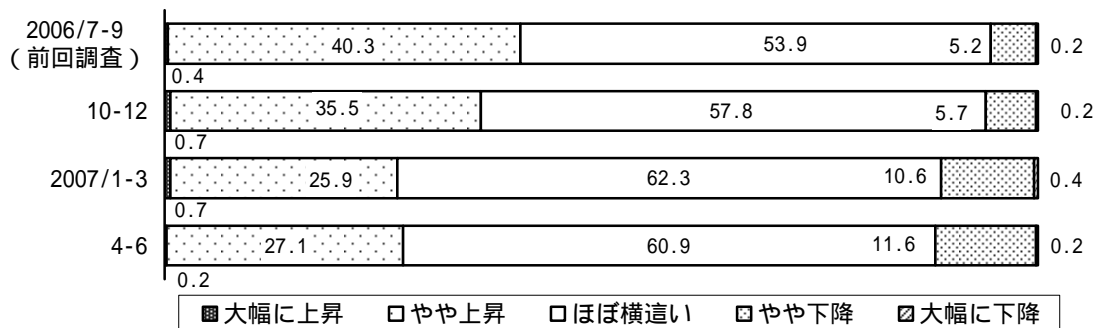
1. 調査対象  
    関経連・大商の会員企業 2,022社
2. 調査時期  
    2006年11月24日～12月1日
3. 調査方法  
    調査票の発送・回収ともFAXによる  
    四半期ごとに実施
4. 回答状況  
    455社(うち大企業201社、中小企業254社)  
    企業区分は中小企業基本法に準拠  
    有効回答率:22.5%

< 今回の調査に関するお問い合わせ先 >

- ・ (社)関西経済連合会 経済・経営グループ 中畑・壺井  
    TEL:06-6441-0102

## 1. 国内景気

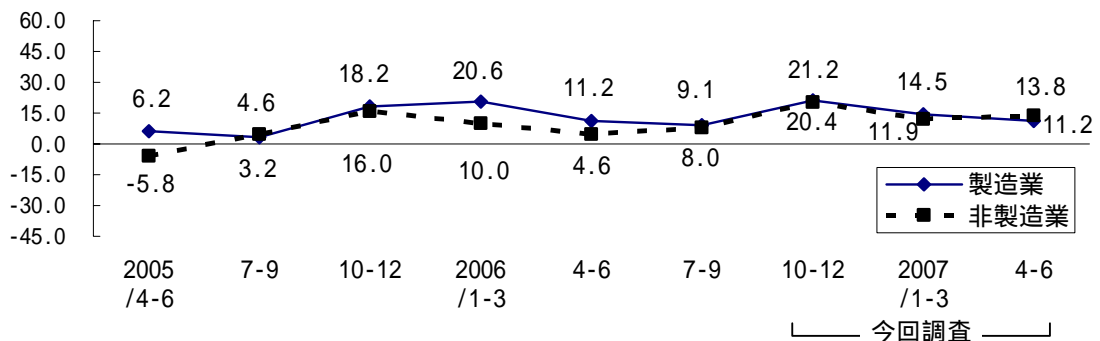
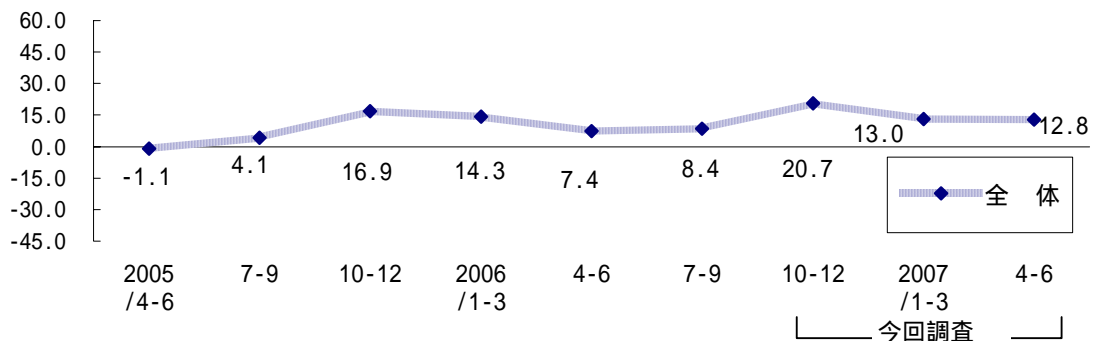
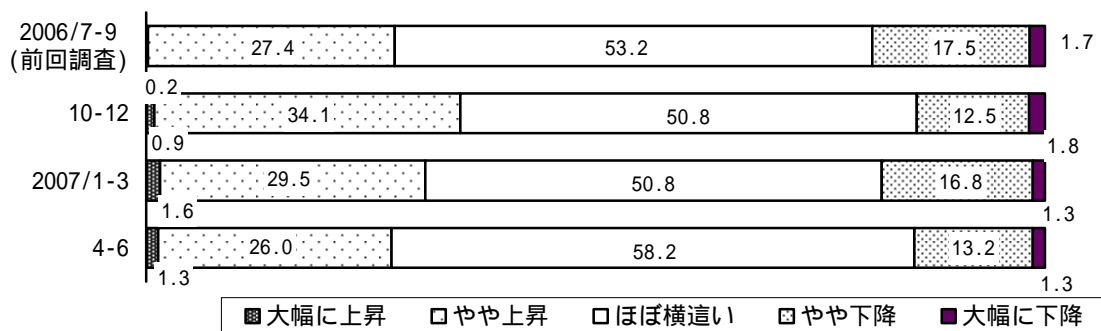
- ・2006年10～12月期における国内景気の実績見込を「上昇」（「大幅に上昇」「やや上昇」の合計、以下同じ）とみる回答は36.2%となり、前回2006年7～9月期の40.7%より4.5%ポイント減少した。また、「下降」（「大幅に下降」「やや下降」の合計、以下同じ）とみる回答は5.9%となり、7～9月期の5.4%より0.5%ポイント増加した。  
以上の結果、BSI（「上昇」回答割合 - 「下降」回答割合、以下同じ）は30.2で、前回の35.3より減少した。（2回調査連続減少）
- ・先行きの見通しについて、短期(2007年1～3月期)のBSIは15.5と、足元の水準を下回っており、中期(2007年4～6月期)は15.6となった。  
前回調査(9月)時では、07年1～3月期のBSIは18.7と慎重な見方であったが、今回調査の結果、慎重な見方が広がった。
- ・製造業、非製造業別にみると、BSIは足元、先行きともに、非製造業の方が製造業よりもやや高い傾向を示している。



## 2. 自営業況

### (1) 総合判断

- ・自営業況の総合判断は、2006年10～12月期における実績見込みのBSIが20.7で、前回値の8.4を大きく上回った。(国内景気は低下)
- ・なお、前回調査時の先行きでは、2006年10～12月期のBSI 22.7に対し、今回の実績見込み20.7はやや下回っているものの、年内の自営業況は好調を維持する見方となっている。
- ・先行きは、2007年1～3月期のBSIが13.0、2007年4～6月期は12.8であり、足元水準を下回り、年明け以降の先行きは国内景気同様、慎重な見方が広がっている。
- ・製造業、非製造業別では、実績見込み(2006年10～12月期)は、製造業・非製造業ともに上昇している。  
中期(半年後)の先行きは、非製造業が製造業を上回る見通しとなっている。



## (2)個別判断

### ➤ 生産・売上高について

2006年10～12月期実績見込みは「増加」が35.4%と、「減少」の15.8%を大きく上回っている。

先行きは、「増加」が「減少」を上回っているものの、「増加」とみる回答は2007年1～3月期は32.0%、4～6月期は26.6%と、足元に比べ慎重な見方が広がっている。

### ➤ 製・商品の価格について

2006年10～12月期実績見込みは「上昇」が19.9%と、「下降」の8.3%を上回っている。

先行きも、「上昇」が「下降」を上回っている。

また、「下降」とみる回答は2007年1～3月期は足元と同じであるが、4～6月期は7.4%と減少すると見ている。

### ➤ 経常利益について

2006年10～12月期実績見込みは「増加」が27.5%と、「減少」の19.7%を上回った。

先行きは2007年1～3月期の「増加」が24.7%で、「減少」の21.6%を上回っている。

一方で、2007年4～6月期では「増加」の19.6%に対し、「減少」が25.2%で、「減少」が「増加」を上回った。

### ➤ 雇用判断について

2006年10～12月期実績見込みは「過剰」が4.4%と、「不足」の22.9%を大きく下回り、引き続き不足感が継続している。

先行きは、2007年1～3月期も「過剰」が減少、「不足」が増加し不足感がやや拡大するとみる傾向にある。

一方、2007年4～6月期は「過剰」が7.4%であり、足元と2007年1～3月期見通しに比べ拡大。「不足」は若干和らぐとみている。

### ➤ 製・商品在庫について

2006年10～12月期実績見込みは「過剰」が16.4%で、前回(同7～9月期)の15.0%より拡大。

「不足」とみる回答は足元5.6%で前回の2.3%に比べ拡大している。

先行きは、「ほぼ適正」とする回答が増加しており、「過剰」感は和らぐとみている。

### ➤ 資金繰りについて

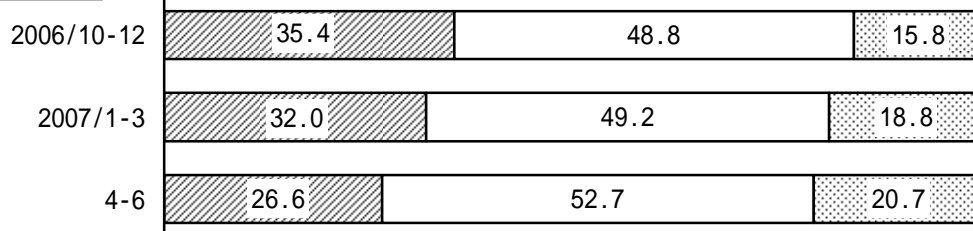
2006年10～12月期実績見込みは「改善」が11.4%と、「悪化」の6.6%を上回り、また、「ほぼ不変」とする回答が、82.0%ある。

先行きも「ほぼ不変」とする回答が、2007年1～3月期86.1%、2007年4～6月期86.8%と「ほぼ不変」とみる見方が広がっている。

# 全体集計結果

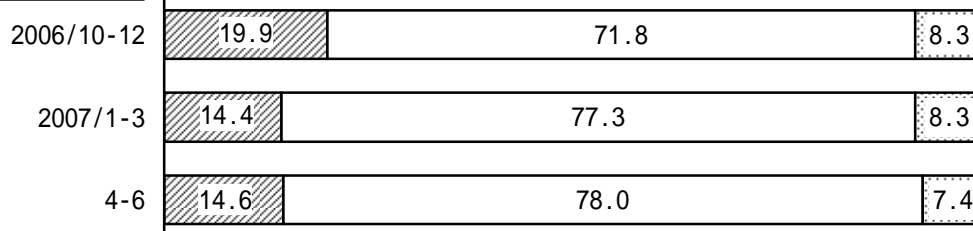
## 生産・売上高

■増加 □ほぼ不変 ▨減少



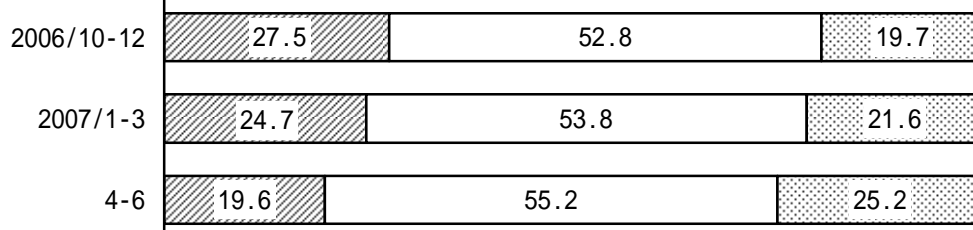
## 製・商品の価格

■上昇 □ほぼ不変 ▨下降



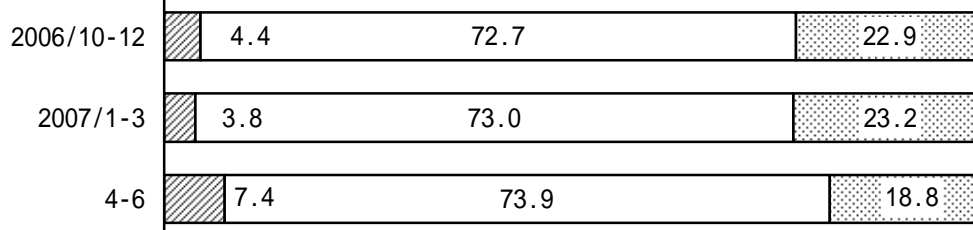
## 経常利益

■増加 □ほぼ不変 ▨減少



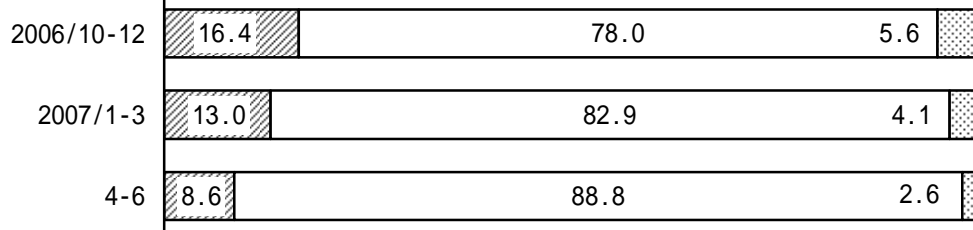
## 雇用判断

■過剰 □ほぼ適正 ▨不足



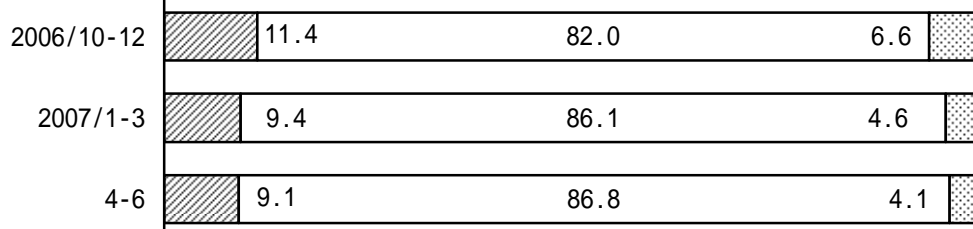
## 製・商品在庫

■過剰 □ほぼ適正 ▨不足



## 資金繰り

■改善 □ほぼ不変 ▨悪化



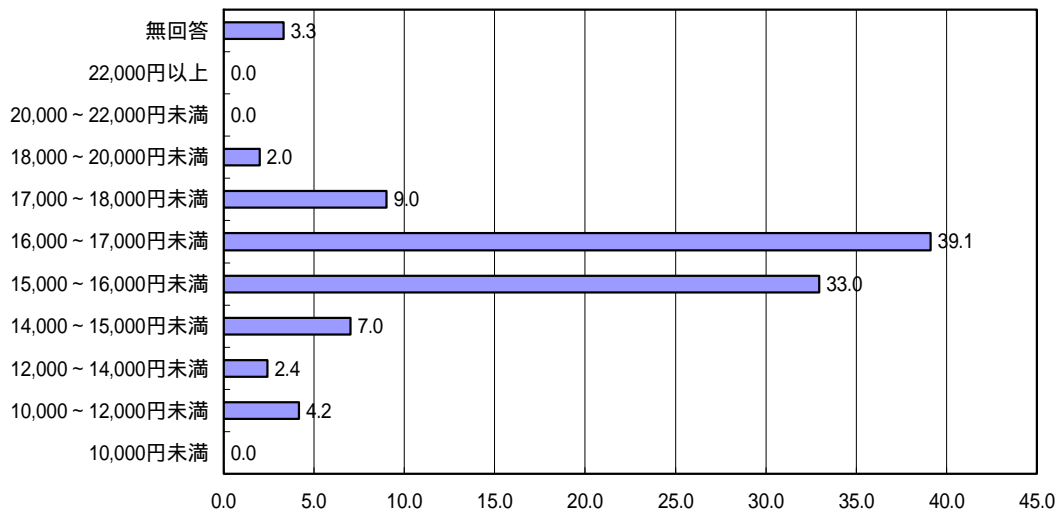
### 3. 2007年の経済の見通しについて

#### (1) 来年1年間の日経平均株価の予想水準

(07年3月末・12月末時点でそれぞれ回答を1つ選択)

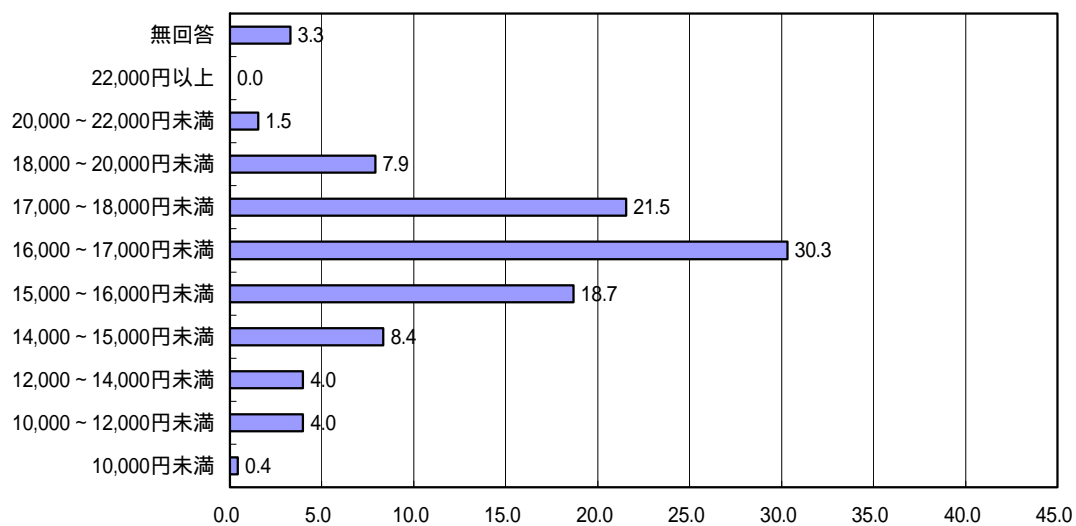
< 2007年3月末時点 >

(単位：%)



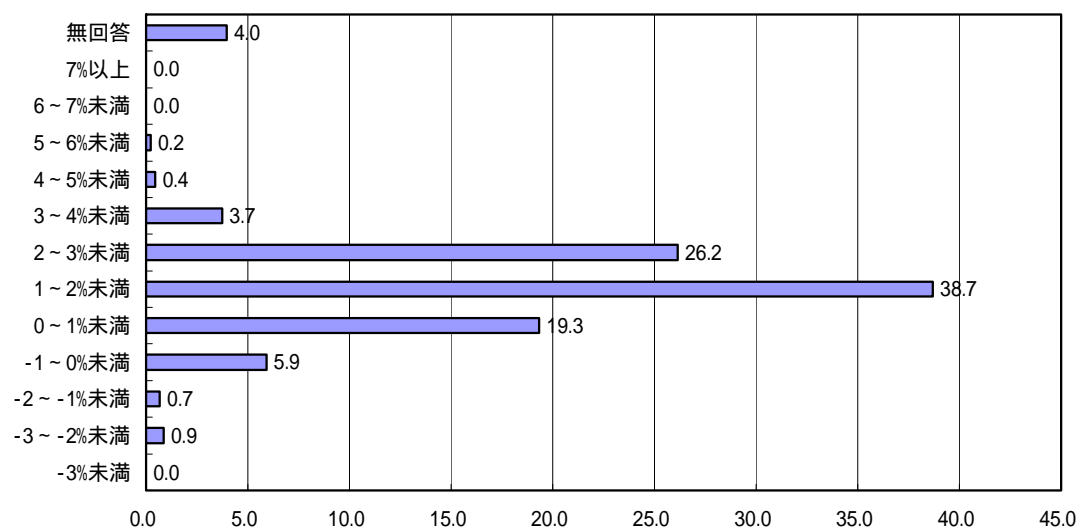
< 2007年12月末時点 >

(単位：%)



#### (2) 来年の日本の実質GDP成長率の予想

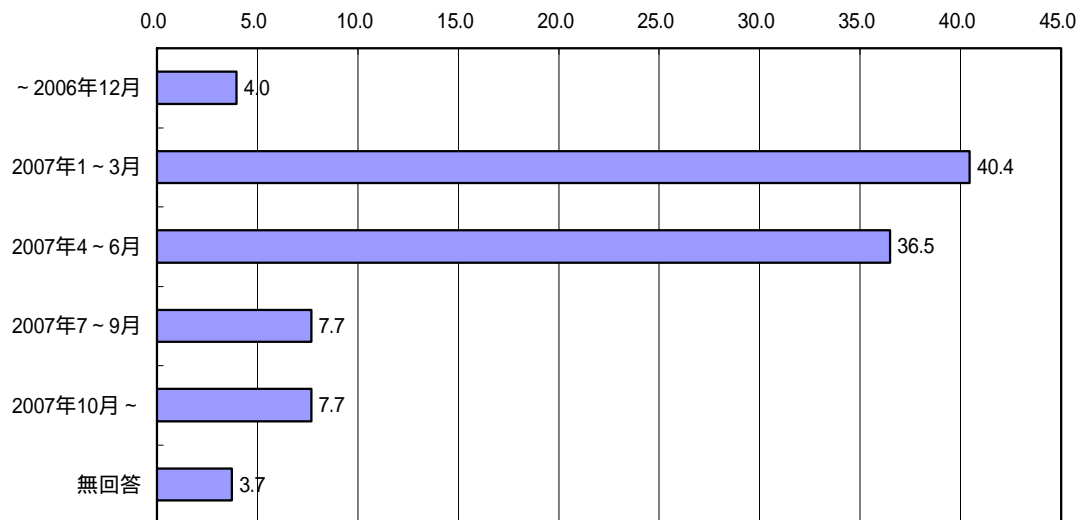
(単位：%)



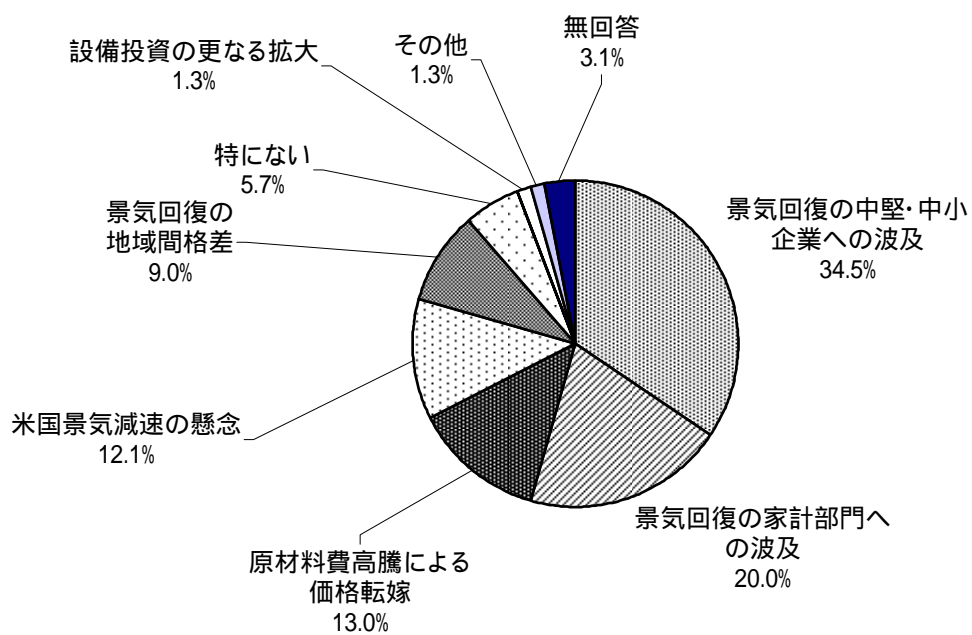
(3) 日銀追加利上げについて(それぞれ回答を1つ選択)

次の利上げが予想される時期

(単位: %)



次の利上げの時期までに解消すべき条件や実現すべき条件



以上